

月刊



湖国が滋る・水と緑の街づくり

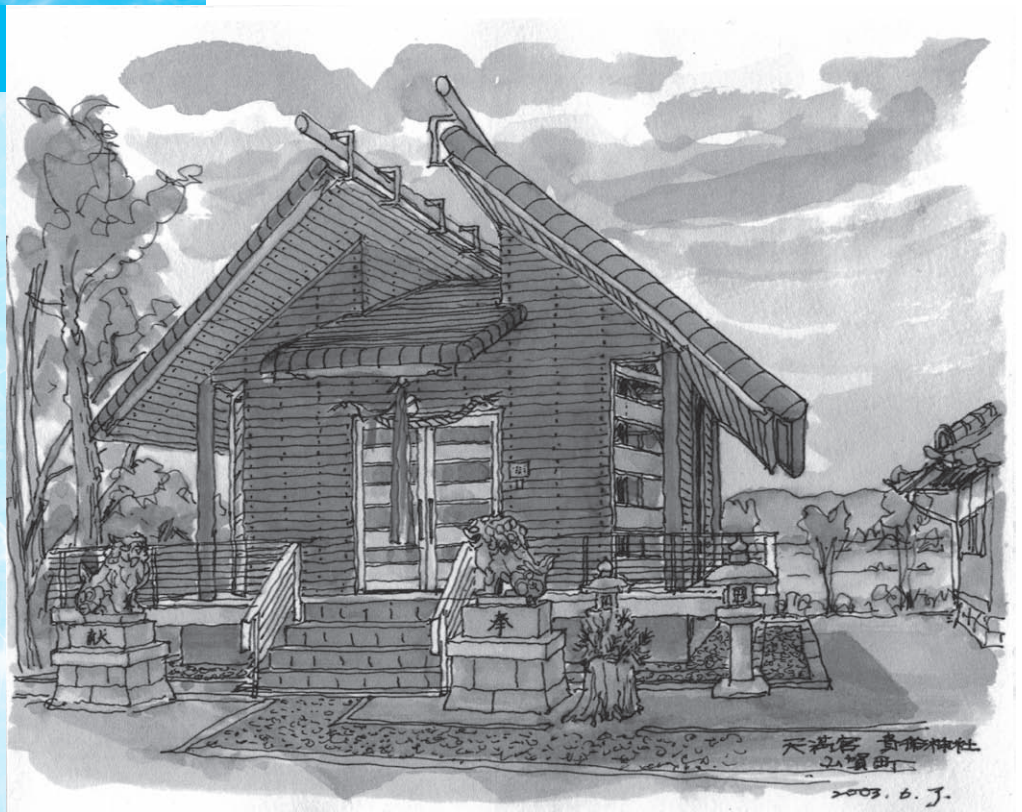
平成26年2月1日発行 通巻217号
 昭和40年8月21日第3種郵便物認可
 発行/公益社団法人 滋賀県建築士会
 〒520-0801
 滋賀県大津市におの浜1-1-18 建設会館 3F
 TEL077-522-1615 / FAX077-523-1602

公益社団法人 滋賀県建築士会

URL : <http://www.kentikushikai.jp/> mail : shiga-sa@mx.bw.dream.jp

CONTENTS

- ・ 第45回
平成25年度 中部建築賞 2
- ・ まちづくり委員会
高校生の「建築甲子園」報告 3
- ・ 女性委員会 Doシリーズ No.65
コミュニケーションスキルを
高めよう! 報告 4
- ・ 渉外事業委員会
平成25年度 第4期 一級、二級、
木造建築士 定期講習のおしらせ
- ・ 青年委員会
第1回 青年建築士交流会 5
- ・ アイ・湖国びと 6
- ・ 大津・湖西滋賀地区委員会
平成25年度 フォーラムの御案内 .. 7
- ・ 情報広報委員会
機関誌「家」2014号 作品募集 .. 8
- ・ 2月の暦
- ・ 足のむくま 近江再発見 第17回

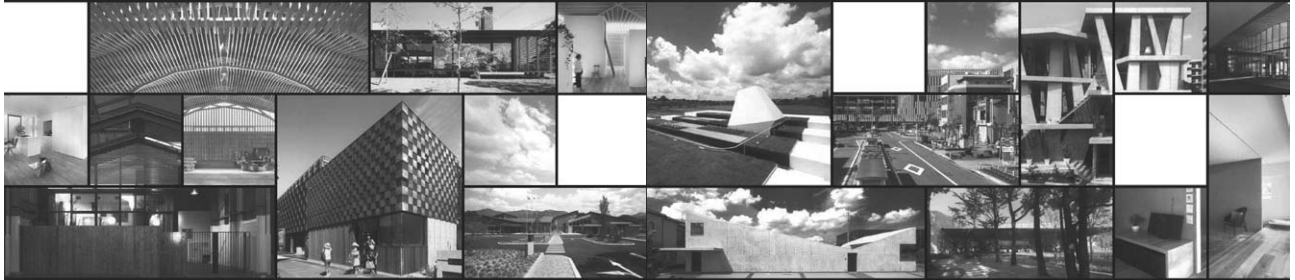


山賀のモダン社

琵琶湖博物館の風車がすぐ近くに見える場所に建ち、建物内には天満宮と貴船神社の社が並んで鎮座している。天満宮は菅原道真を「天神」として祀り、貴船神社は「水神」である高麗神（たかおかみのかみ）を祀っているので、その地域の農業のための神社と思われる。

第45回 平成25年度 中部建築賞

第45回 平成25年度
中部建築賞



中部建築賞協議会

名古屋市中区栄西丁目3番26号 (一財) 東海建築文化センター内
TEL (052) 262-0838 FAX (052) 262-0839

Chubu Architecture Award 2013

第45回（平成25年度）中部建築賞受賞者一覧

■一般部門・入賞

1. 田園オフィス

建築主 株式会社 都工業 代表取締役社長 安本 拓人
設計者 AUAA建築研究所 代表 鶴岡 昭年
施工者 株式会社 渡邊工務店 代表取締役 渡辺 均

2. 一宮市尾張一宮駅前ビル

建築主 一宮市 一宮市長 谷 一夫
設計者 株式会社 山下設計 代表取締役社長 田中 孝典
施工者 名工・中野・昭和土建特定建設工事共同企業体
代表 名工建設 株式会社 代表取締役社長 野田 豊範

3. 八事交番／八事山興正寺参拝者駐車場／興正寺公園

建築主 八事山 興正寺 住職 梅村 正昭
設計者 株式会社 三菱地所設計一級建築士事務所
執行役員 建築設計二部長 渡邊 顕彦
施工者 株式会社 大林組 名古屋支店
専務執行役員支店長 友廣 康二

4. 高志の国文学館

建築主 富山県 富山県知事 石井 隆一
設計者 株式会社 シーラカンサンドアソシエイツ
伊藤 恭行・井原 正揮
施工者 日本海建興・三由建設・ミヅホ建設工事共同企業体
日本海建興 株式会社 代表取締役 山野 清昭
三由建設 株式会社 代表取締役 三由 昌成
株式会社 ミヅホ建設 代表取締役 長森 竹志

5. 北沢建築 工場

建築主 株式会社 北沢建築 代表取締役 北澤 宗則
設計者 三澤 文子 Ms建築設計事務所/MSD
稲山 正弘 株式会社 ホルツストラ
施工者 株式会社 北沢建築 代表取締役 北澤 宗則

6. 長野県立こころの医療センター駒ヶ根

建築主 長野県立こころの医療センター駒ヶ根 院長 樋掛 忠彦
設計者 株式会社 共同建築設計事務所 専務取締役 鈴木 慶治
施工者 株式会社 岡谷組 代表取締役 野口 行敏

株式会社 ヤマウラ 代表取締役社長 山浦 速夫
金澤工業 株式会社 代表取締役社長 金澤久仁彦

■一般部門・入選

7. dNB

建築主 中渡瀬拓司
設計者 CO2WORKS一級建築士事務所 代表 中渡瀬拓司
株式会社 藤尾建築構造設計事務所 代表 藤尾 篤
施工者 株式会社 岡本建設 代表取締役 岡本 義明

8. アロン化成ものづくりセンター

建築主 アロン化成 株式会社 代表取締役社長 矢田 昭
設計者 株式会社 森下建築総研 代表取締役 森下 修
施工者 株式会社 安藤・間名古屋支店 執行役員支店長 前原 弘光

■住宅部門・入賞

9. 光の郭

設計者 株式会社 エムエーススタイル建築計画 川本 敦史+川本まゆみ
施工者 株式会社 荒川工務店 荒川 豊

10. 工場から家

設計者 裕建築計画 浅井 裕雄
施工者 株式会社 ヨシコウ 吉村 正信

11. 覚王山の住宅

設計者 株式会社 ワーク・キューブ 萬田浩太郎+WORK・CUBE
施工者 株式会社 タカマ 代表取締役 高間 和男・山元 誠治

12. 緑縁の栖

設計者 株式会社 エムエーススタイル建築計画 川本 敦史+川本まゆみ
施工者 桑高建設 株式会社 桑高 弘城

■住宅部門・入選

13. 稲沢の住宅 STAGE (S)

設計者 clublab. 丹羽 哲矢・丹羽 倫子・松月 浩子
施工者 竹内建設 株式会社 竹内 正明・坂田 達哉・竹内 健造

14. 林の中に住む

設計者 丸山晴之建築事務所 丸山 晴之
施工者 株式会社 名津井建設 名津井晋次

奨励賞 八幡工業高校「中山道」



高校生の「建築甲子園」で八幡工業高校の生徒が手掛けた、「中山道」が奨励賞をいただきました。滋賀県は、建築甲子園が始まって4年連続で参加し優秀な成績を収めています。今後も県内の高校生の頑張りに期待し、応援していきたいと思います。詳細は、日本建築士連合会ホームページに掲載されていますのでぜひ、ご覧ください。

～推薦作品評～

中山道とは、その昔本州には五街道と呼ばれた街道が存在した。その中の一つが中山道である。近江の国にとって中山道とは戦国の世に「近江を制する者は、天下を制する」とまで言われた天下の要衝であった。

また、江戸時代には諸大名の参勤交代には欠かすことの出来ない重要な街道でもあった。

滋賀県の各地に残る街道の宿場町は、本陣を中心に宿場町屋も数多く残り、今なお往時の面影を色濃く残している。たとえば大津宿、草津宿、守山宿、武佐宿、愛知川宿等がある。

この地域の人々にとって宿場町屋は先祖から大切に受け継いだ何物にも替え難い宝物である。この宿場町屋こそその地域の新しい街づくりの核となることは言うまでもないだろう。

この作品は永い歴史と伝統によって育まれた宿場町武佐宿の未来に向けての新しい地域づくりとこの地に住む人々の住まいと住まい方について提案である。

この地域は近江八幡市の郊外に位置し、中山道の街道筋に発達した農村地帯である。各戸の間取りを見ると滋賀の農村でよく見かける田の字形を基本とした平面である。この基本形体は、田舎での集会の場、佛事の場等諸行事に一番適したフレキシブルに利用出来る実に合理的な間取り形式である。そして現代も十分その役割を果たしてきたことは事実である。

この伝統様式をベースとしてその特徴を十分生かした上で新しい「住い」「住い方」の住空間を創出しようという提案である。

この作品の平面計画は一見平凡でシンプルであるが、先人の残した伝統様式の中の「住居（スマイ）」と「住い方」の知恵を大切に守り、（不易）そして川の流れるごとく時代はどんどん流れ行くもので（流行）その行先をしっかりと見定め、この両者を高度な時限で重ね合わせるにより夫々の地域で現代生活に相応しい「住居（スマイ）」と「住い方」が生まれるというものである。

将来、建築家として地域づくりに貢献しようと志す若き女子高生が、その地域に根ざした新しい街づくりに「不易流行」をコンセプトとしての取り組みは賞讃に値するものではないだろうか。

1月11日、株式会社アメリティアラ 吉原三鈴氏を講師にお迎えして、自分らしい芯・軸を持って、円滑なコミュニケーションをはかるためのスキルを学びました。

第1部では「呼吸、姿勢、体の軸を整えると印象・生き方が変わる」をテーマに、ご講義頂きました。鼻からゆっくり大きく呼吸することで、全身に十分に酸素を巡らせ、心を落ち着かせ、脳を活性化させると、姿勢が正され、伴って意欲が湧いてきます。これで、健全な心身の基盤が整います。次いで、身体を中心に一本の軸（センター）を意識することで、身体意識が極まります。これらの流れを会得することで、健全な精神と身体を持ったぶれない自分を意識できます。そんな自分を姿勢や表情に表して行動することで、人から好感をもたれる印象づくりへとつながり、良好な人間関係が構築されていくのだと学びました。

講演中は、参加者の立ち姿や歩き方を例にとり、姿勢から受ける印象の違いについてのレクチャーもありました。

第2部の交流会では、早速に、ご講演内容が活かされたようで、講師、非会員の方々とも十分にコミュニケーションをはかることができました。会員増強の機会も得ることが出来て、充実したDoシリーズとなりました。(M. I)



渉外事業委員会

平成25年度 第4期 一級、二級、木造建築士 定期講習のおしらせ

平成20年11月28日に施行された新建築士法の規定により、建築士事務所に所属する一級建築士、二級建築士又は木造建築士の方は、3年毎に国土交通大臣の登録を受けた登録講習機関が行う、一級建築士定期講習、二級建築士定期講習又は木造建築士定期講習を受ける事が義務付けられています。(なお、施行日以降に建築士試験に合格した方で建築士事務所に所属した建築士の方は、その合格日の属する年度の翌年度の開始の日から起算して3年以内に建築士定期講習を受講すればよいこととなります。)

【講習日・講習会場について】

平成25年度 第4期 講習日：3月19日(水) 講習会場：ビバシティ彦根

受講手数料 (テキスト代含む)：12,900円 (消費税含む)

受付期間：平成25年12月1日～平成26年2月28日まで (但し定員になり次第受付期間中であっても〆切ります。)

受講申込関係書類の配布・申込みにつきましては、

公益社団法人 滋賀県建築士会 〒520-0801 大津市におの浜1-1-18 滋賀県建設会館3階

TEL 077-522-1615

にお問合せ下さい。

※国土交通省から今後、定期講習の未受講者については懲戒処分が行われることが発表されています。まだ、未受講の方は、早急に受講願います。

第1回 青年建築士交流会

公益社団法人 滋賀県建築士会 青年委員会

～ 話して広がる青年建築士の輪 ～



公益社団法人滋賀県建築士会青年委員会では、様々な事業を開催しています。

業界の身近な話題から知っているようで知らない事設計・施工での疑問点、会社では相談出来ない事今さら聞けない建築技術の疑問点などを建築士の仲間と会話ができる輪をつくりたいと思っています。

そこで『話して広がる青年建築士の輪』と題して第1回青年建築士交流会を開催致します。

多数の御参加、心待ちにしております。

日時 平成26年3月1日(土) 18時30分 ～ 21時00分

場所 ホテルニューオウミ(予定)

滋賀県近江八幡市鷹飼町1481

内容 青年委員会活動紹介

食事をしながら歓談(アルコールの席となります)

参加資格 青年建築士(40才以下・男女は問いません)
(会員外の建築士も参加可能です)

定員 60名(定員になり次第締め切ります。)

持ち物 名刺、ボールペン

参加費 3,000円(飲食代金)

申込・問合せ先

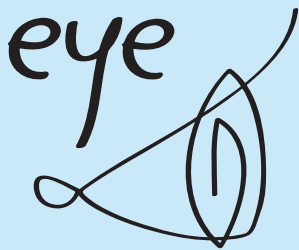
公益社団法人 滋賀県建築士会

TEL 077-522-1615 FAX 077-523-1602

申込書(FAXにてお申込みください。締切:平成26年2月15日)

お名前		電話番号	
メールアドレス			年齢
地区名 (会員のみ)			会 員 / 非 会 員





— アイ・湖国びとの愛情視線 —

イラストレーター・画家
第20回 深尾 竜騎さん

森の記憶は創作の根源



ふか お りゅうき
深尾 竜騎さん

1969年、草津市生まれ。滋賀と大阪を行き来しながら創作活動に取り組む。星の観察や滋賀の自然をめぐるのが趣味のひとつ。

本、雑誌の表紙絵や挿絵、広告デザインなどを手掛けるイラストレーターとして活動しながら画家としても作品を発表し、独自の世界観を表現している。創作の道に進んだのは切り絵作家である父親の存在が多分に影響しているという。「家には絵本がたくさんあって、創作している父の姿があるのが日常でした。将来のことを考え始めたとき、サラリーマンになる自分は想像できず、美大へ進み、自然と絵の世界に身に置いてという感じでしょか」

創作の原点となっているのは幼い頃の記憶。子ども時代の遊び場は野山で、放課後になると草津川沿いに自転車を走らせ、山に向かった。山の中を探検し、虫つかみをしたり木から垂れ下がるツルでターザンごっこをしたり。「塾行ってくるわー、野球の練習だと言いつつ、サボって山へ遊びに行ってしまうということもちょくちょくありました。休みの日は母に作ってもらったお弁当を持って一日中。とにかく自然の中が大好きだったんです」



Copyright © RYUKI FUKAO All rights reserved.

小さな気配を感じたら、
木の葉の陰に、岩の端こいるかもしれない、
森の精霊「森ビト」

2006年から作り始めた立体作品「森ビト」はそんな体験から生まれた子たちだ。ネコのような犬のような不思議な形の小さいきものは森の精霊。手のひらに乗るほどの大きさで、やさしくそっと微笑む表情が印象的だ。「雪の中にある動物の足跡、小鳥のさえずる声、森には目で見ることではできなくても、生き物の息遣いや気配があります。そのイメージが膨らんで、森ビトという形になりました」

精霊は一人一人に名前があり、特徴などを記したプロフィールがある。クルンと巻いた角と丸い顔の“フウカ/Fuuka”は森に風と季節を呼んでくる森ビト。角は柔らかくて、ときどきピンと張っては風の心に耳をすましている——その世界感をより表現する方法として、森ビトを自然のなかで撮影した。フェイスブックに写真を載せたところ、ロシアからメッセージが届いた。ロシアは近年日本への感心が高くなっており、日本人のアート作品として注目され、2013年11月から一か月間、サンクトペテルブルクで深尾竜騎写真展「森ビト」を開催することになった。オープニングセレモニーではスカイプ機能を使って作品を紹介するなどし、森ビトお面を付けた子どもたちも登場し、森ビトをヒントに作ったオリジナルの物語や歌などが披露された。「感じたものを作品に表現して発信するのが僕の

仕事。そして受け止め方は見た人に委ねられます。今回の写真展ではその反応を大きく感じる事が出来ました。国を超えて伝わったこと、自由に広がった空想を見せてもらえてうれしかった」

写真展は今後もロシア各地で開催される予定で、森ビトの旅はまだまだ続きそうだ。「時間があると星の観察をしたり、滝を見に行ったり、県内あちこちへ出かけます。子どもの頃の記憶が遠くならず、創作に力を与えてくれるのは、滋賀の素晴らしい自然があってこそ。これからも森にヒントを得ながら創作活動を続けていきたい」

(取材 M・Y)



深尾竜騎写真展「森ビト」
2013/11/8 - 12/8
Russia Saint Petersburg Children's library for foreign literature

ロシア、サンクトペテルブルクで開かれた写真展

日 時 平成26年3月18日(火)

13:30受付開始

14:00~16:10

場 所 大津市民文化会館 多目的ホール

(大津市御陵町2番3号 TEL:522-7165)

※会場は、駐車場が少ないので、公共交通機関

(電車、バス)をご利用ください。



定 員 100名

(FAXによる申し込み先着順とし、定員になり次第締切ります。3/14最終締切)

参 加 費 無 料

内 容 (1)開会あいさつ (14:00~) (公社) 滋賀県建築士会大津地区委員長
大津市都市計画部建築指導課長

(2)フォーラムの内容 (14:10~16:00)

講 師

・耐震改修促進法の改正要点と運用について 滋賀県土木交通部建築課建築指導室

・施行令第39条による天井落下防止の要点について(4月1日施行)

松村構造計画 松村和夫

(休憩 10分)

・大津市における消防法の取り扱いについて 大津市消防局予防課

・その他、質疑応答

(3)閉会あいさつ (16:00~16:10) (公社) 滋賀県建築士会湖西滋賀地区委員長

フォーラム 参加申し込み書				大津地区事務局 FAX077-544-6500まで	
参加者	住所				
参加者	氏名		連絡先(携帯)		
所属地区(建築士会)	大津	湖西滋賀	その他()		
所属支部(事務所協会)	大津	その他()	・ 会員外		

機関誌「家」2014号に掲載します「Works 会員の作品」を募集しています。
 会員の皆様のすばらしい作品をご応募いただき、より良い機関誌にしたいと思います。
 詳しくは各地区の代表もしくは（公社）滋賀県建築士会事務局までお問い合わせ下さい。



2月の暦

1	土	友引	「建築士」フェスティバル 子ども立体作品展	10	月	大安	情報広報委員会	19	水	友引	
2	日	先負	子ども立体作品展	11	火	赤口	建国記念の日	20	木	先負	
3	月	仏滅		12	水	先勝		21	金	仏滅	
4	火	大安		13	木	友引	会員増強特別委員会 四役会・理事会	22	土	大安	
5	水	赤口		14	金	先負		23	日	赤口	
6	木	先勝	青年委員会	15	土	仏滅	免許交付式	24	月	先勝	
7	金	友引		16	日	大安		25	火	友引	
8	土	先負		17	月	赤口		26	水	先負	
9	日	仏滅		18	火	先勝		27	木	仏滅	
								28	金	大安	

足のむくまま 近江再発見 山賀のモダン社

外観からはそれ自体が「社」と思えるが、その中に小さな社が建っており、表紙はその社を保護するための、ステンレス、銅板、ガラス、コンクリート、木材と多様な材料で造られた上屋的な建物と思われる。内部は、玉砂利が敷き詰められ、上記の社が並んで建っているので、正月や祭礼時は解放され、参拝できるようになっていると思われる。

